



# 山ぼうし

— 友愛・協調・責任 —

山ぼうしは「立志の樹」といわれ正門脇の「山ぼうし小庭園」には『花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし』の碑(初代PTA会長の盛合聰氏揮毫)がある。

宮古工業高等学校校報 第1号 2016.4.27

## 『読むこと』の大切さ

校長 及川晃貴

全校生徒205名で平成28年度の宮古工業がスタートしました。これまでと同様に、「楽しく生き生きと学び、皆からいっそう信頼される学校」を目指し、本年度も邁進していく所存です。

さて、今月の始業式で生徒の皆さんに、「自分をさらに磨くため、今年『読み』『書き』の大切さをわかり、実践してほしい」と話しました。

読むことは、話を聞いたり物に触れたりすることとともに、自分に対して外部からの情報をインプット(取込)するための作業です。読むことが適切に行われないと、アウトプット(発言や行動)に誤りを生じる割合が高まります。たとえば、工作機械を取り扱う際に、取扱説明書を読まずにいきなり操作に取りかかれば、事故発生などの危険性は格段に増えるでしょう。

学習のため教科書を読むことは必須ですし、知識を得たり、他人の心情を推し量ったりするために報道記事や小説などの活字に触れることは大切です。皆さんが毎朝取り組んでいる朝読書は、いい習慣づけにつながると思います。今年度は、きちんと『読むこと』をいっそう心がけましょう。

## ○転入職員

このたびの定期人事異動により、4月に新たに5名の職員が着任しました。

### ■転入職員：氏名(教科・前任校等)

村上 則文	副校長	(黒沢尻工業高校副校長)
吉田 康浩	事務長	(軽米高校事務長)
小田原理香	先生	(国語・高田高校)
伊香 拓	先生	(建築設備科・民間)
須藤 敬一	主事さん	(釜石市立鶴住居小学校)

また、養護教諭の阿部真由佳先生が育児休業から復帰され、転入職員と同じく4月から本校で勤務しています。

## ☆5月の主な行事☆

- |       |         |                 |
|-------|---------|-----------------|
| 2(月)  | 代休      | (5月7日・PTA総会の代休) |
| 6(金)  | 議案書審議   |                 |
| 7(土)  | PTA総会   | (出校日)           |
| 9(月)  | 結核検診    | 10(火) 尿検査(二次)   |
| 11(水) | 耳鼻科検診   | 12(木) 生徒総会      |
| 13(金) | 頭髪服装検査  | 17(火) 心臓検診(二次)  |
| 19(木) | 防災避難訓練  | (地震・津波想定)       |
| 23(月) | 開校記念日   |                 |
| 24(火) | 県高総体開会式 | 26(木)～高総体       |

スクールカウンセラー来校日 12(木)、27(金)

## ○入学式を挙行

4月7日(木)に入学式を挙行し、来賓並びに保護者の皆様が見守る中、機械科21名、電気電子科18名、建築設備科23名、合計62名が本校に入学をしました。



校長式辞では、東日本大震災津波からの復興が進む中、本校のものづくり教育をとおして困難に真正面から立ち向かっていく気概と、工業に関する専門的能力を身につけたスペシャリストになろうと呼びかけました。

そのため、高校生活で重点的に取り組む3つのことについて話しました。それは、①3年後の進路実現に向けて学力向上に努めることと、その基盤である基本的な生活習慣を確立すること、②部活動や生徒会活動などに主体性をもち積極的かつ継続的に取り組むこと、③高校生らしい社会性を身につけるため様々な場面で人との関わりを大切にすること、の3つです。

新入生宣誓は電気電子科の田畑唯さんが行いました。新生活に向けた誓いを声高らかに宣言し、新入生全員の決意が溢れる入学式となりました。



## ○対面式・部紹介

4月8日(金)、在校生と新入生とが一堂に会し、対面式・部紹介・各科歓迎会が行われました。



## ○マレーシアの生徒と交流



4月18日(月)、マレーシア・サバ州(ボルネオ島)の州都コタキナバルにあるトゥン・アハマダシャー宗教中等学校(SMKA Tun Ahmadshah)の生徒10名(男子6名・女子4名)と先生方7名が本校を訪れました。

コタキナバルの生徒たちは15~17歳で高等部に所属し、修学旅行の一環で宮古を訪問しました。高等部には約200名の生徒が在籍しており、その中から選抜されて来日したとお聞きしました。

午前中は田老地区で震災津波や復興の現状を学び、昼前に来校しました。

はじめに、本校の生徒会執行部及び津波模型班の生徒たちとカレーライスを食べながら交流を深めました。カレーの味付けには、マレーシアから持参したスパイスを使用しました。



味付けはマレーシアのスパイス

午後は津波模型班によるプレゼンと実演(もちろん英語)を熱心に見学してから、次にコタキナバルの生徒たちが自校で研究をしている「水ロケット」のデモンストレーションを行いました。



津波模型班が英語で解説&実演



水ロケットを機械科生徒が参観

さらに全校生徒との交流行事を第一体育館で行い、コタキナバルの生徒・先生方全員によって、マレーシアで親しまれている歌の披露がありました。



両校の友好関係の覚書



## ○「熊本地震」支援について

今回の「平成28年熊本地震」を受け、県共同実習船りあす丸が支援物資を輸送することになり、本校から備蓄していた水や乾パン、米、毛布等を拠出しました。

りあす丸は、県立学校や宮古市から提供された支援物資を積み、宮古水産高校の実習で名古屋へ向かう途中の21日(木)に東京湾に寄港し、物資は熊本県立<sup>れいよう</sup>茶洋高校の漁業実習船「熊本丸」に積み替えられ、25日(月)に熊本に届けられました。茶洋高校の中野校長先生から宮古水産高校の熊谷校長先生に御礼のメッセージが寄せられたそうです。



りあす丸に届ける物資の積み込み

また、生徒会とボランティア委員会では、校内募金とマリンコープ DORA で街頭募金を行い、集まった 135,077 円を、熊本県庁を通じて被災地に送りました。

## ○「小さな親切」実行章受章

生徒会執行部とボランティア委員会を中心になり行っている雪かきボランティアの取組に対して「小さな親切」実行章をいただきました。4月27日(水)に「小さな親切」運動岩手県本部の岩手銀行より、細野健一宮古支店長さんと及川恵理支店次長さんが来校され、黒田達也生徒会長(E3)に賞状を、山本龍雅ボランティア委員長(E3)に記念品を授与していただきました。



黒田君はお礼の言葉の中で、「今後もボランティア活動に励み、地域から信頼される学校を目指す」と全校生徒に呼びかけました。



## ○「小さな親切」運動(昭和38年発足)

スローガン

「できる親切はみんなでしよう  
それが社会の習慣となるように」